

令和6年度 第9回群馬県剣道連盟ジュニア強化大会要項

1 目的

- (1) 2029年国民スポーツ大会少年の部で成果をあげるため、当年、高校1・2・3年生に該当する2024年現在、県内小学5・6年生及び中学1年生の強化指定選手を選考する。
- (2) 小学4年生と小学5年生は第20回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(小学生の部)への出場選手5名を選考する。

- 2 期日 令和7年2月8日(土) 9:00 開場 15:00 閉会式(予定)
9:30 審判会議 ※閉会式終了後「強化指導員会議」
10:00 開会式

- 3 会場 ALSOKぐんま総合スポーツセンター サブアリーナ

4 参加資格

小学生

- ① 県内に在住し県内各支部の道場・教室等に在籍する者。
- ② 選手は所属する各支部の名札を着用し出場することとする。

中学生

- ① 中学1年生の支部選考会出場資格については以下のとおりとする。
- A: 原則、各支部内に所在する中学校とする。(各中学校顧問が支部に申し込みをする)
- B: 在籍する中学校に剣道部がない生徒に限り、所属する支部の予選会に道場名・教室名等で参加することができる。(所属の道場・教室から責任者が支部に申し込みをする)
- ※上記A、Bの措置は、道場及び教室等と中学校部活動の重複を避ける為であり、道場及び教室等に所属しない生徒、また初段未取得で支部未登録生徒への配慮である。
- ② 群馬県外の中学校に入学予定者又は転出の者は参加できない。
- ③ 選手は所属する中学校名の名札を着用し出場することとする。

小中学生共通事項

- ① 各支部は今年度の強化指定選手(別添:令和6年度群馬県剣道連盟ジュニア強化選手支部別一覧表)を除いて支部選手の選考及び県へのエントリーをする。
- ② 強化指定選手または都道府県代表選手に選出された場合は本連盟強化行事を優先して参加できる者とする。
- ③ 各支部は予選もしくは選考の際、支部割り当ての出場枠に欠員が出た場合に備えて、若干名の補充選手を準備しておく。

5 各支部別出場選手数(各支部の登録人数をもとに算出)

支部名	種目		小学4年生		小学5年生		小学6年生		中学1年生	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
前橋	4	5	4	1	4	3	5	5		
高崎	6	6	4	5	6	4	4	6		
桐生	1	3	1	1	1	1	1	1		
伊勢崎・佐波	5	3	2	3	2	3	4	3		
利根・沼田	2	3	2	3	1	3	3	2		
渋川・北群馬	4	3	1	1	1	1	1	2		
新田・太田	4	3	2	1	2	2	2	2		
藤岡・多野	1	1	1	1	1	1	1	1		
館林・邑楽	1	1	1	2	1	1	1	2		
吾妻	1	1	1	1	1	1	1	1		
甘楽・富岡	1	1	1	1	1	1	1	1		
安中・碓氷	1	1	1	1	1	1	1	1		
みどり	1	1	1	1	1	1	1	1		
R6強化指定選手出場数 ① - ②			10	10	9	9	6	4		
合計	32	32	32	32	32	32	32	32		

参考

① R6強化指定選手数			10	10	11	11	10	8		
② 選考会免除選手数			0	0	2	2	4	4		

6 申込方法

出場選手の選考方法は各支部に一任し、別添「第9回群馬県剣道連盟ジュニア強化大会出場者申込書」により申し込むこと。

令和7年1月9日(木)必着 群馬県剣道連盟事務局 gunkenren32712@aqua.plala.or.jp

7 試合方法

全種目トーナメント戦とする。小学生は2分3本勝負、中学生は3分3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は2分刻みの延長戦（1本勝負）を勝負が決するまで行う。ただし、延長戦は3回行ったところで5分間の休憩を入れる。

その他の試合方法については、全日本剣道連盟試合審判規則・同細則及び剣道試合・審判・運営要領の手引き（令和6年9月改訂版）並びに感染症予防ガイドライン（全剣連ガイドライン）による。

8 選考方法

		①推薦選手	②ジュニア強化大会上位者	③R7強化指定選手 ① + ②	④都道府県代表選手 (代表決定戦)
小学4年生	男				上位4名が決定選へ
	女				上位2名が決定戦へ
小学5年生 (2029 高1)	男	6名(今年度指定選手内リーグ戦上位6名)	2~8名(推薦選手を除くベスト8の選手)	8~14名 (①+②)	上位2名は代表決定残り上位6名が決定選へ
	女	6名(同上)	2~8名(同上)	8~14名(同上)	上位4名が決定戦へ
小学6年生 (2029 高2)	男	2名(今年度指定選手内リーグ戦上位2名)	2名(大会上位2名)	4名(①+②)	
	女	2名(同上)	2名(大会上位2名)	4名(①+②)	
中学1年生 (2029 高3)	男	4名(今年度指定選手内リーグ戦上位4名)	2名(大会上位4名)	8名(①+②)	
	女	4名(同上)	2名(大会上位4名)	8名(①+②)	

① 推薦選手（今年度指定選手内リーグ戦上位者）

		1	2	3	4	5	6
小学5年	男	持田 歩睦	渡辺 那琉	岩野 笑楽	渡邊 壮思	金子 誠真	井田 充駿
	女	山本 沙也加	吉野 千桜	田村 彩笑	田中 姫梨	井上 由理乃	塩田 和花
小学6年	男	平山 仁	五十嵐 聡士				
	女	牧野 稟	鈴木 珠音				
中学1年	男	高井 奏輔	須賀 遼介	吉澤 大空	峯岸 優至		
	女	大竹 那和	齊藤 夕依	眞下 つくし	新井 美絢		

※推薦選手は、県ジュニア強化大会を免除する。但し小学5年生推薦選手は全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会の予選も兼ねるため、強化大会（2月8日）に参加する。

② ジュニア強化大会上位者

①推薦選手を除く②ジュニア強化大会上位者

③ R7強化指定選手

①推薦選手+②ジュニア強化大会各上位者を③R7強化指定選手とし、閉会式で群馬県剣道連盟会長より強化指定選手証が授与される。(小5・小6・中1)

※令和6年度強化指定選手で令和7年度の強化指定選手になれなかった者は現中学1年生のみ「練習生」として強化練習に参加できる。

④ 都道府県代表選手（4・5年生の5名）

代表選手は小5男子上位2名と代表決定戦上位3名（代表決定戦は小5男子6名、小5女子4名、小4男子4名、小4女子2名の計16名でトーナメントにより決定する。）とする。代表決定戦は各学年男女別の試合終了後に行う。二次選考会は行わず5名で選手強化を図る。

9 その他

- 傷害保険は連盟にて加入する。
- 組合せは強化委員（小学、中学の部）で行う。※決定次第剣道連盟事務局に提出する。
- 審判員の委嘱は連盟審判部で行う。
- 竹刀の計量は行わない。整備・点検された竹刀を使用し、指導者が必ず点検等を行うこと。
- 試合及びウォーミングアップをする場合は、必ず面マスクまたはマウスガードを装着すること。
- 群馬県剣道連盟で撮影した写真が、新聞や群馬県剣道連盟HP等で公開されることがある。
- 感染症拡大の場合等で大会を中止する際は群馬県剣道連盟HPに掲載する他、各支部に通知する。